

乗務員への指導・監督の記録

実施月日	令和4年10月11日
時間	9時00分～11時20分
場所	北上本店営業所

検印 **非公開**

営業所名 北上本店営業所 北上さくら宮業所 矢巾宮業所

非公開

【一般的な指導事項】

- ①事業用自動車を運転する心構え
- ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③事業用自動車の構造上の特性
- ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩健康管理の重要性
- ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ヒヤリハット体験の報告やや運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬⑭のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
- ⑮非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

※危険の予知及び回避並びに緊急時における対応方法

[危険予知訓練の実施及び危険回避の方法の周知並びに事故発生時、災害発生時における対応方法の指導]

1 危険予測の考え方

- ①どのような危険を予測するか ・安全運転とは危険を予測する運転 ・危険予測のポイント
- ・見える危険だけではなく「見えない危険」を予測する ・時間帯による変化を知ろう
- ②自分の心の中にある危険を予測する ・正しい判断をするには冷静な心身状態が必要
- ・自分の中にある危険を読む
- ③緊急時における対応
- ・バスの運転者は、乗客への責任を果たすためにも交通事故や車両故障発生時、自然災害に備えて適切な対応をとることが必要です。

2 危険予測訓練の実施方法

- ①危険予測訓練の方法はいろいろありますが、今回はJAFの動画を利用した訓練とする。
- ②ドラレコ画像を活用した危険予測
- ③出発前に一人で行う危険予測

3 指差呼称（安全呼称）の活用

- 漫然運転を防ぐために呼称うんてんを実施
- 交通事故の約3割は「安全不確認」で起きており、安全確認を行うには「呼称運転」が有効です。

※ 10月の重点管理（薄暮・夜間の事故防止を図ろう）

- 早めのライト点灯を心がける
- 薄暮の急速な視認性の悪化が、事故の大きな原因になっている。早めライト点灯とハ

裏面へ

指導・教育の内容	イビームを活用した運転をする。
	● 帰社・退社時の気持ちの緩みを引き締める 会社や自宅に帰る直前に発生する事故が意外に多い。「もう少しで到着だ」という油断は禁物。気持ちを引き締めた運転を呼びかける。
	● 夜間は速度を落とした運転を実践する 夜間は、交通量が減少する等の油断からスピードを出す傾向がある。夜間にスピードを出すことの危険性を訴え、昼間より確実に減速した運転を実践する。
	※ 令和4年度 重大事故に関する研修会にて
	1 2021年6月28日午後3時半頃、千葉県八街市で発生した大型トラックの飲酒運転事故
	2 2022年8月22日午前10時15分頃、名古屋高速豊山南(IC)付近で発生した大型バス横転・炎上事故

